

キタダケソウを見に北岳へ(7月9日、10日)

2017年7月11日 3E 梅内功

何度も行っている北岳だがすでに枯れた後で時期を逸してキタダケソウを見たことがなかった。今回はそのキタダケソウを見るのが目的で出発した。天気予報を見ていたところ梅雨の時期にここ2、3日天候が良いとの情報で7月9日(日)急きょ出発。

キタダケソウと初の出会い、3羽のひなを連れたライチョウに出会ったことが今回の収穫でした。

7月9日(日) 一日目は5時間のトレッキング。

11:05 広河原登山口を出発。 12:55 二股分岐着。大雪溪を登り八本歯の科尔へ向かう。

14:50 八本歯の科尔着。 15:20 トラバース分岐着。

16:00 北岳山荘着。宿泊手続きをしてすぐに熱燗を注文。疲れの癒しに最高。

今日は天気予報通り最後まで晴天。そして明日も晴天の様子だ。小屋の人に聞くとキタダケソウはほとんど終わっている。トラバースコースの一部に咲いている。との情報だが、大きな岩が木道に落石していたトラバースコースはあまり行ったり来たりはしたくない。明日は小屋近くの保護策の中を確認することと、北岳直登のルートで探してみることにした。

今日は客が少なく幸運だ。30人部屋に3人という割り当てに当たった。

食堂で3杯目の熱燗を飲んでいたところに北岳専門にきているという浦和在住の50代らしい人が話しかけてきた。北岳は100回目ほどになるという。主に富士山を取っているらしい。今日は月と富士山のコラボが見られるという。さらにライチョウ博士が入ってくる。9年ライチョウの観察をしているという。寝始めたころ、うす暗い富士の横に十五夜の月がオレンジ色をして並んだ。普通のカメラでは暗くて撮れないが北岳専門おじさんは高級高感度カメラで何度もシャッターを切っていた。

8:00 消灯・就寝。

7月10日(月) 二日目は6時間のトレッキング。

4:20 起床。外は晴天だ。身支度を整えて出発準備をする。

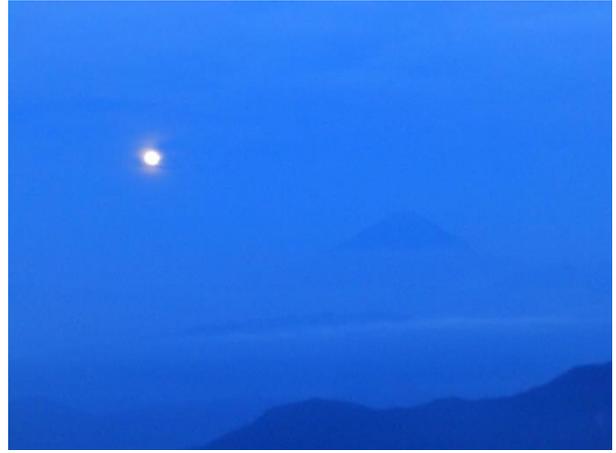
5:00 出発。キタダケソウの花を探しに保護柵へ向かう。確かにほとんど散っているか散りかけている。一つ二つ咲き残りがあったのでカメラに収めた。北岳山頂に向けて尾根を登り始める。ハクサンイチゲが咲きほこる中、キタダケソウはないか探しながら登る。山頂までもう少しという山頂直下に来た頃、山頂から団体が下りてきて登山道をそれて何やら見に行っている。地元中学生が先生たちと一緒に登山研修だという。その先生かガイドさんらしい人にキタダケソウを見に案内されているという。最近発見されたらしい。なんと運がいいことか！！中学生たちが見終わって山頂へ引き上げたあと、ゆっくりと見て写真を撮った。4株ほどの少群生だがちょうど満開の状態で最高の状態でした。

7:00 北岳山頂着。360度のパノラマを存分楽しむ。肩の小屋下では3羽のひなを連れたライチョウに出会う。 9:00 二股分岐着。 10:50 広河原着。

晴天に恵まれたキタダケソウ登山は、運にも恵まれ大満足でした。素晴らしい写真を紹介します。



大樺沢の雪渓(二股分岐点より)
ここを登って八本歯コルへ



月と富士山のコラボ (19:30 ころ)
(自前のカメラでようやく撮れる)



初めてみたキタダケソウ(北岳山頂直下にて)
花も葉も大きく違うが、全体の大きさはコマクサのような



八本歯のコルから日の出
(北岳山荘より)



3000mの稜線 (北岳山頂より)
7月なので残雪が多い



肩の小屋前より



仙丈ヶ岳と甲斐駒
(山頂より)



山頂にて



甲斐駒と遠方に八ヶ岳
(山頂より)



イワカガミ



ハクサンイチゲ



ミヤマキンポウゲ



シロウマオオギ



ミヤマシオガマ



イワウメ



オヤマノエンドウ



キタダケソウ



シャクナゲ



ライチョウ（肩の小屋下で）
（3羽のひなといた親）



ミヤマキンバイ



イワベンケイ